

18/7/13 石垣部会終了後記者会見（名古屋市民オンブズマン作成メモ）

石垣部会記者会見

CBC：石垣保全方針 了承されなかった どこか

北垣：不十分というか、頂いた資料が、天守台の石垣に結局建物を載せるための
計画書になっている

私たちが言っているのは、それとは別に、名古屋城の特別史跡の価値は
石垣にある

ですからそういう中で、計画されている内容については「それはいいですね」とはいえ
ない

提案されて文化庁に提出されることでなさってられるだろう

そこは範疇ではない

石垣の大切さ、子々孫々に残す石垣 何とか残していく道はないか考えている
違いなのかもしれない

CBC：市に求めていくことはなにか

北垣：部会で申し上げたが、現在の石垣の現状を的確に把握する

それには資料にいろいろと材料が提供してもらっている

それを元にしながら学術的な調査をしっかりして欲しい

新たな課題が見えてくるだろう

CBC：文化庁今回出せない場合、来年5月に出す予定

どの程度スパンを考えているか

北垣：こちらから提案するものではない

名古屋市がどうしていくのか 答えられない

CBC：1年で済むはなしか

北垣：特別史跡名古屋城 総合的に調査して、いっそう価値あるものにするには
時間がかかる

今の話は国と相談して決まること

NHK：部会「申請自体は名古屋市の判断だが、了承していない 議論していない」
カメラがいるのもう一度お願い

北垣：名古屋市自身がされる判断
現状の計画書で十分クリアできるならば出されたらいい

赤羽：市長は「文化庁としては、石垣部会と話し合っ欲しい」と言っていた
どう計画を作るか関心がある
データ、評価 認識とは開きがある
既に申し上げている 名古屋市としては文化庁の話で「石垣部会としてこういつていた」

NHK：やや不十分という認識か
もっと不安定なのではないか

赤羽：相当危機的な状況にあると認識している
「崩れそうだから、来館者を守ろう」大事だが、再構築するにはどうすればよいか
石垣に本質的な価値を持つならどうすればよいか
大災害が起こる可能性
崩れた場合にどうするのか 来館者だけでなく、石垣をどう修復するか
その点では時間がかかる かなりの時間を要する

中部経済新聞：大阪地震で大阪城石垣が一部崩落した
最優先で取り組まないと行けないことは

千田：天守の耐震が不足していると市長が言った
大阪地震、熊本地震 建物の耐震を確保するだけでなく、石垣の耐震性
名古屋城本丸御殿復元した 客が多い
本丸御殿まで、石垣のすぐ下を歩いて歩く 非常に多い
本丸御殿 石垣のすぐしたを通らないとどこにも行けない
天守台石垣の安定性 危機的状況にある そこをどうするかを急ぐ
名古屋城全体 外のところから本丸まで 全体の石垣をどうとらえて安定性を確保
今日もお客さん来ている 熊本城のようになってもおかしくない
具体的策が必要 石垣カルテ 基礎調査ができていない
どこをどう守るか、どこが危ないかの調査を

朝日新聞：市の考え 現状では石垣カルテは不十分だが、天守閣復元と平行して行う

許可された場合、天守閣の解体復元をしながら石垣整備ができるのか

北垣：穴蔵までは現在天守台 本質的価値

そういうところまでは普通名古屋城に限らずに、石垣の修復工事 しっかりやって
それなりに対応策を

伝統技術でできている 積み直しをやりながら基本的にやっている

危険な部分、危ない部分 江戸時代から気にしながらやっている

後を継いで我々もやっている

上も下も一体となった石垣

多様な考え方があ

朝日新聞：千田先生 文化庁「まず石垣を修復した上で、建物を」

千田：一般的に 本物（慶長・宝暦）の石垣が残っている

本物を壊して作るのは、原則としてできない

石垣保全を後回しにして、活用を図るのは適切とは言えない

何らかの建物を作るときに、石垣を壊れないようには当たり前

名古屋城天守台石垣 極めて危機的状況 脆弱

保全措置 急務と認識している

その部分を守っていくのは石垣部会としては最も重要

それをせずに別の復元で「本物」を壊したらだめ

まずは調査が必要

調査をすればできるか？ できるかもしれないし、具体的にわかれば、

史跡の整備の基本的考え方 どうすれば保全できるか

本丸搦手石垣のように解体修理

解体するだけで10年かかっている

大天守はより大規模 周辺石垣の修理が待たなしになったら、最優先になる

対岸側の空堀の上 場内の園路 安全安心を確保する事につながる

石垣だけを守ればよいといっているわけではない

石垣部会が、名古屋市が申請することに言い悪いをいっているわけではない

名古屋市が

●：危機的状況とは、はらみだし空洞か

千田：はらみだし 崩落、崩壊する過程

空洞 石垣内部に空洞 資料は本日なかった

根石周り 根石自体は動いていなかったが、押さえている基礎の掘り込みが多く失われている

動かなくする方法がなくなっている

根元を動かなくしないとだめ

本丸搦手石垣

天守台石垣だけでなく、対岸 近代 積み方から根石 ぐだぐだ

空堀 平らに見えるが、いつの時点か堀底自身を掘り返されている

堀底自体が不安定に

石垣も影響を受ける

現状で安心できる状況ではない

さらに元の天守 非常に強い熱 触ると鱗のように落ちる

石が割れているところも 破断するほどか、表面だけか

1個1個チェックしないと行けない

市「おおむね安定している」とは全く異なっている

●：独自に調べられたのか

西垣：現場を歩いてわかったこと

「科学的に完全に危機的状況」ではない

千田：部会を継続的に取材していればわかるが、

急にいいだしたわけではない 根石周りが壊されていて不安定

対岸

北側 変形している

既に指摘している

どうして 私たちが聞きたい

審議結果が反映されていない

私たちの評価と 180度違う 報告書にどうして書かれているのか

個人的には思っている

毎日新聞：現場をでたのはいつか

北垣：6月後半 はじめて資料を用意してもらって現場を見た

石垣カルテ 石垣によって変形した顔がでてくる

前回出されているものとしてはよろしくない

現場で話した

当然資料断面図作る 歩いた現状をあわせたらわかった
客観的に見る必要がある
我々だけが見る話ではない
現場を確認すればわかる

千田：今日も 10 時から 12 時で終わる
その後毎回非公開で現地視察をしている
現状チェックをしている

●：保全計画 点数は付けられるか

千田：大部資料はよい
通常、石垣部会とキャッチボールをしながら作る
考え方と全く違うのはまれ
こうすべきと指摘してきた なぜか反映していないのは遺憾である
今日部会の中で北垣座長 手がかりにこれからいっそう深い分析を
間違いない
評価、調査そのものが十分でない 改善が必要

12：39

引き続き名古屋市会見

●：危機的状況と話がでたが、このまま文化庁に提出するのか

西野所長：今日の審議を踏まえて検討したい
基本的にはご指導を受けながらしっかりしていきたい
平行して天守復元を進めていく
7月に資料を提出していくよう進めていく

●：部会を踏まえて方針をかえるのか

西野所長：方針を変えることはない

●：手を加えるのか、もう一回石垣の先生に確認するのか

西野所長：先生方のご意見を反映して書き直す

石垣部会ではこういうご意見をいただいた

共同通信：保全計画部分 議論なされなかった
保全計画部分を除いて提出するのかあ

西野所長：それを踏まえた形で提出したい
文化庁がどう取り扱うかはわからない
19日 天守閣部会
ご審議を踏まえてご審議をいただいて文化庁の提出

NHK：方針を変えるつもりはない
「安定している」180度違う 変えるつもりはないのか？

西野所長：方針を変えない 木造復元について
石垣について、記述については検討したい

中部経済：今回の指摘を踏まえ、500億とは別に、国、県の補助金を受けて調査・復元意思は？

西野所長：石垣積み替え費用も含まれる
復元後、9年間かけてやる計画
国に対しても補助など働きかける

毎日：専門家の意見と全く違う理由は

西野所長：竹中工務店との基本協定を踏まえ、実際調査を行う
学芸員が付いて確認してきた
調査で得たデータをみて評価した
専門の先生と我々のレベルが違う 見解が厳しく言われた
先生方 ご指摘頂いていた
足場の上から詳細に石垣を見られた 危険度が高いと思われた
考える範囲と専門的な目線とは違う

毎日：計画書の中に出し直すのか
石垣部会の意見として別個か

西野所長：書き直す部分もあるし、別個に出す

- ：文化庁「石垣部会の意見を踏まえて」
今後どうするか

西野所長：盛り込めるものは審議を踏まえて
こういった意見もある
さらに詳細調査 実際やっている
具体的な石垣対策 取り組んでいる
名古屋市としては流れの中で方向性を書いた ご理解を頂きたい

- ：理解頂けると思うか

西野所長：我々が言えることではない
しっかりと説明していきたい

- ：ノーコメントか

西野所長：何のことか

- ：部会の復元工事について

西野所長：部会は判断しなかった

- ：10月現状変更許可申請 見通しはわからない
目指したい

- ：復元検討委員会の手応えは

西野所長：わからない めざしてやりたい

- ：天守の工事 平行してというものに変更はないか

西野所長：一般論としてはまず石垣と話をいただいた
天守の竣工目標がある
石垣修復には時間がかかる

天守がないという時間を長く作るのがよいのか
優れた技術で石垣修復と平行して木造天守閣復元を進めたい

●：文化庁 石垣保全を後回しすると言われたと認識は

西野所長：そんな認識はない

フリー：何でもここまで部会の指摘が反映されていないのか
これについては

西野所長：石垣調査をまとめた

追加調査が必要 強く意識したのは天守石垣の反対側

早急に追加調査が必要

天守台石垣とは別と考えてきた

この計画とはリンクしていない

より詳細に見られて、危険だとみられた

十分受け止められていなかったのがあったのかもしれない

●：市長 7月にもう一度石垣部会開けないかと言っていたが

西野所長：そういう想定はない

●：次はいつか

西野所長：復元検討委員会に取り上げてもらいたい

●：19日天守閣部会の後になるか